

山並み連携ゼロカーボンシティ 協議会からのお知らせ



「ゼロカーボン」とは、家庭や企業などから出る二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引き、全体として排出を実質ゼロにすることを意味します。

美しい山並みがつながる越生町・毛呂山町・ときがわ町・東秩父村の3町1村では、互いに手を取り合い、2050年までに地域からの二酸化炭素排出を実質ゼロにすることを目指して、令和4年に「山並み連携ゼロカーボンシティ協議会」を組織しました。

協議会ではこれまで、ゼロカーボンの実現に向けてさまざまな取組を行ってきました。

今月号では、そうした取り組みの中から最近の活動をご紹介します。

木こり体験を実施しました。



11月22日（土）、協議会構成町村（越生町・毛呂山町・ときがわ町・東秩父村）の小学生以上のかどもと保護者を対象に、「木こり体験」を行いました。

会場は、越生中学校近くの森林です。

まずは、森を守るために作業「間伐」の大切さについて学び、安全確認を行ったあと、ノコギリを使って実際に木を切る体験に挑戦しました。

チェーンソーなどの機械は使わず、手作業で木に向かうことで、木の重みや香り、森の息づかいを感じることができました。



参加したこどもたちは、森を健康に保つことの大切さを学びながら、自然と人のつながりを肌で実感していました。

「木を切ったら太陽の光が差し込んで、森が喜んでいるようだった」「森を大切にしたいと思った」など、笑顔あふれる一日となりました。



『環境ポスター конкурール』の表彰を行いました。

11月3日（月・文化の日）、「おごせ環境フェア」の会場で、山並み連携ゼロカーボンシティ協議会による環境ポスター конкурールの表彰式を開催しました。

越生町から入賞した2名に対し、新井町長から表彰状と記念品が贈られました。

この конкурールは、協議会構成町村（越生町・毛呂山町・ときがわ町・東秩父村）の小学生を対象に、夏休み期間中の自由課題として「環境保全」や「環境問題」をテーマにしたポスター作品を募集したものです。

4町村あわせて53点もの素晴らしい作品が寄せられ、各町村長による厳正な審査の結果、越生町から右記の2作品が受賞しました。



越生町長賞

かん一缶かわる未来
梅園小学校 5年生
たきざわ りょうた
滝澤 領太さん



入賞

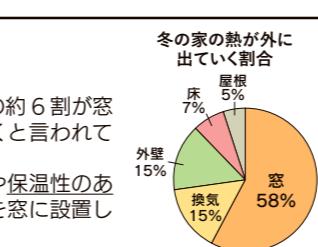
keep、ぼくたちの町と村
梅園小学校 5年生
あいば ふみや
相庭 史弥さん

冬の省エネ対策をしよう！

冬は電気やガスなどのエネルギー消費の多い季節です。部屋を適温にするためのエネルギーや給湯などで使用が増えます。節電・省エネのため、できることから取り組みましょう。

窓

暖めた空気の約6割が窓から出ていくと言われています。
断熱シートや保温性のあるカーテンを窓に設置しましょう。



リビング

テレビは省エネモードを活用、リビングや寝室の輝度を下げましょう。
不要な照明は消しましょう。



冷蔵庫

冷蔵庫の冷やしすぎを避け（強→中に）、扉を開ける時間を減らし食品を詰め込みすぎないよう注意しましょう。



自動車

自動車を運転する場合にはエコドライブを心がけましょう。
ぶんわりとアクセルを踏み、減速時は早めにアクセルを離し、無駄なアイドリングはやめましょう。
車内の暖房を使用する際、除湿時以外は「A/C」をオフにしましょう。

エアコン

重ね着をするなど無理のない範囲で20℃を目安に室内温度を調整しましょう。
サーキュレーターなどで暖かい空気を循環させると効果的です。



お風呂

入浴の間隔を空けずに入りましょう。
シャワーの時間を短くしたり、こまめに止めることも効果的です。